

## ★県北地域の感染症発生状況（8/12～8/18 福島県感染症動向調査より）

※詳細は「福島県感染症発生動向調査」で検索してください。

定点把握疾患：咽頭結膜熱、手足口病、RSウイルス感染症が流行しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナが小流行しています。

全数把握疾患：百日咳(1名；学童；男児)が報告されています。

8/20 県北保健所管内の医療機関から、腸管出血性大腸菌 O121 の発生届がありました！

## 今月のトピックス

### ★「腸管出血性大腸菌（O157等）」にご用心！

「腸管出血性大腸菌」は、毒力の強い「ベロ毒素」を産生する大腸菌の一種です。菌の成分(O抗原)により分類され、近年食中毒の原因になっているものとしては、O157が多くを占めますが、その他にO26やO111などが知られています。動物の腸内に生息しており、これらの菌に汚染された食肉や加工品、飲料水を飲食することで感染します。また、感染者の便で汚染された手指で取り扱う食品などを介して二次感染を起こすこともあります。

しかし、衛生的な食材の取り扱いと十分な加熱調理、手洗い・消毒を徹底することで、感染を予防できます。



しっかり加熱して菌をやっつけよう！

#### 腸管出血性大腸菌感染症とは？

- 潜伏期間：おおよそ3～5日
- 症状：頻回の水様便、激しい腹痛と水様性の下痢、血便。一過性の発熱。抵抗力の弱い感染者の場合、溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳炎などの重症合併症を発症する。全く症状のないものから軽い腹痛や下痢で終わる場合もある。
- 感染経路：加熱不十分な牛肉からの感染が多い。その他として、井戸水、野菜、水泳による感染、保菌者からの感染など。

#### 腸管出血性大腸菌感染症の予防のポイントは？

- 食中毒の多発時期の初夏～初秋は要注意の時期です！
- 予防のポイントは食品の衛生的取り扱い！「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」(別紙)を守りましょう！
- 手洗いをしましょう！  
食事の前、調理の前、トイレの後など

※詳しくは「厚生労働省 腸管出血性大腸菌Q&A」を検索ください。

### <RSウイルス感染症が流行中です！>

RSウイルス感染症は、従来は秋～冬期に流行していましたが、近年は流行時期が早まる傾向が見られます。主な症状は鼻水や咳ですが、重症化すると気管支炎・肺炎などの原因になる場合があります。特に、生後数週間～数ヶ月の時期に感染すると、重篤な症状を引き起こしやすくなるため注意が必要です。再感染の場合は軽症例が見逃されやすいため、集団生活施設では注意が必要です。

発行日 令和元年8月23日  
発行元 福島県県北保健所  
医療薬事課  
住所 〒960-8012  
福島市御山町8-30  
電話 024-534-4113  
ホームページ  
検索キーワード

福島県県北保健所